

2018年10月改定

DT-01

**DAYTONATALK SERIES
WIRELESS INTERCOM**

取扱説明書

商品 No.98913 / 98914

「マイナーチェンジで使いやすくなりました！」

マイナーチェンジ前のモデルをお使いの方も
ファームウェア更新で同様の操作に変更できます。
詳しくは、裏表紙のQRコードからWebサイトへ！

DAYTONA[®]

目次

内蔵リチウムイオン電池について	8
本製品の特徴	10
商品内容	11
各部の名称と役割	13
1. DT-01 の構成	13
2. DT-01 本体	15
使用前の準備	16
1. バッテリーの充電	16
2. 電源の ON/OFF	17
3. バッテリー残量の音声案内	18
取り付け前の確認	19
ヘルメットへの取り付け方法	20
1. スピーカーを取り付ける	20
2. ベースプレートを取り付ける	22
3. マイクを取り付ける	25
4. 本体ユニットを取り付ける	27
5. ケーブルを配線する	28
音声案内の音量調整	29
DT-01 同士で話す	30
1. グループトークするための初期登録	30
2. グループトークを開始する	32
3. 通話音量の調整	33
4. グループトークを終了する	33
COOLROBO GT/ GT2/Easy Talk 3 や他社のインカムと話す ...	34
1. COOLROBO GT/ GT2/Easy Talk 3 や 他社のインカムと話すための初期登録（ペアリング）をする	34
2. COOLROBO GT/ GT2/Easy Talk 3 や 他社のインカムとの通話を開始する	36
3. COOLROBO GT/ GT2/Easy Talk 3 や 他社のインカムとの通話を終了する	36
4. COOLROBO GT/ GT2/Easy Talk 3 や 他社のインカムとグループトークする	37
5. 通話音量の調整	37
Bluetooth機器の接続	38
1. Bluetooth機器（バイクナビ、バイクレーダーまたは スマートフォンなど）と接続するための初期登録 （ペアリング）をする	38
2. ペアリング済みBluetooth機器と接続する	39

携帯電話を使う	40
1. 着信設定	40
2. ハンズフリーで電話をする	40
3. 音声認識機能 (Siri) を起動する	42
音楽を楽しむ	43
1. ブルートゥース機器の操作	43
2. DT-01 の操作	43
ナビやレーダーの音声を聴く	45
1. ブルートゥース機器の操作	45
2. DT-01 の操作	45
音楽を聴きながら会話する (バックグラウンドミュージック機能)	47
1. バックグラウンドミュージック機能を使用する	47
2. 「バックグラウンドミュージック機能」使用時の音量の調整	48
3. 「バックグラウンドミュージック機能」使用時の音楽やナビゲーションの 音声案内について	49
音楽を2人でシェアする	49
G センサーについて	50
オールリセット	50
補修品・オプション	51
ファームウェアのアップデートと機能を調整する	53
LED 点灯パターンと操作	58
Q & A	60
保証書 / Warranty Card	62
保証規定	63

- ご使用前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
- この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
- この商品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡してください。
- 「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、DAYTONA はライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Siri は Apple Inc. の商標です。

■ ご使用前に必ずご確認ください ■

- ※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用したことによる事故や損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ※ 商品の保証については保証書の保証規定に沿って行ってまいります。保証内容をご理解のうえ、大切に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 危険	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る差し迫った危険が想定される場合を示してあります。
 警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	 水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空機内、空港敷地内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください。(電源も入れないでください。) 運行の安全、無線局の運用や放送受信に支障をきたしたり、医療機器が故障、誤動作する原因となります。 ・ 病院等の医療機関では電源を切ってください。医療向け計測器、心臓ペースメーカー等の近くでは使用しないでください。医療機器へ悪影響を及ぼす恐れがあります。 ・ 大音量で使用しないでください。周囲の交通の音が聞こえる音量でご使用ください。事故の原因になる恐れがあります。 ・ 雷が聞こえたたら、DT-O1 の電源を OFF にして、速やかに安全な場所に避難してください。落雷に遭う恐れがあります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分解、改造、修理をしないでください。火災、怪我、感電、故障の原因となります。修理の場合は、弊社またはお問い合わせの販売店にご相談ください。

⚠️ 注意



実施

- ・使用中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などが発生した場合は、ただちに使用を中止し、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- ・高温多湿な場所や熱源の近くで使用しないでください。本体の変形から、発熱、発火、破裂、感電、につながる恐れがあります。
- ・音量は控え目の設定を心がけてください。大音量での使用は、難聴の原因や鼓膜の損傷につながる恐れがあります。
- ・外気温が低いとき室外から室内へ移動すると、本体内部に結露が発生することがあります。その状態のまま使用すると、発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- ・自動ドアや火災報知機付近での使用は控えてください。自動ドアや火災報知機誤作動の原因になります。
- ・本商品の電波が他の通信機器等に影響を与えている場合、ただちに電源を切り、影響を与えない場所でご利用ください。
- ・本体は走行中に落下しないようにヘルメットへ確実に取り付けをしてください。
- ・本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- ・油類等を付着させないでください。ガソリンやオイル等が付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
- ・本体ケーブル、マイクのフレキシブル部分には無理な力をかけないでください。可動範囲には限度があり、無理に力をかけると破損や故障の原因となります。
- ・本体に手を掛けてヘルメットを持ち運ばないでください。本体が破損するばかりでなく、本体が外れてヘルメットを落下させる恐れがあります。
- ・接続コネクタは、コネクタを持って確実に抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。
- ・本製品を取り付けた状態でヘルメットを置く際は、本体に衝撃を与えないように注意してください。
- ・DT-01 を走行中に操作しないでください。操作する場合は、安全な場所に止まってから操作してください。

 <p>法令違反</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国内以外で使用する場合、使用する国の電波法に従い利用してください。 • 運転中の使用に関しましては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
 <p>水ぬれ禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 水がかかる場所への放置や水没はさせないでください。本製品は防水性を考慮した構造となっておりますが、長時間にわたり水がかかる場所での使用はお控えください。また、濡れた手で接続端子等の脱着は行わないでください。本体の発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。 • 浸水による故障は保証期間内でも保証対象外となります。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 本製品の防水性能については弊社試験方法によるものであり、すべての状態において無破損・無故障を保証するものではありません。
 <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。 • 部品の交換修理、補修部品の購入につきましては、販売店にお問い合わせください。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 本製品の故障による代替品の貸出しは一切行っておりません。 ※ 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

内蔵リチウムイオン電池について

本製品の内蔵バッテリーにはリチウムイオン電池を使用しています。下記内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

危険

- 分解したり、改造しないでください。リチウムイオン電池には危険を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、リチウムイオン電池が発熱、破裂、発火の原因になります。
- ストープなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
- 火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウムイオン電池に組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形したり、リチウムイオン電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 液漏れして目に入った場合は失明の恐れがありますので擦らずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。

警告

- 指定の電圧以外で使用しないでください。高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 電池から液漏れしたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。
- リチウムイオン電池は消耗品です。バッテリー動作の駆動時間が短くなった場合は寿命が考えられますのでご使用をおやめください。発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。
- リチウムイオン電池を廃棄したり、リサイクル BOX に出すときは、ゼロハンテープなどで電極をおおい、絶縁してください。電極が他の金属に触れると、発熱、破裂、発火の原因になります。
- リチウムイオン電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の規則に従って処理してください。

注意

- 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。
- 濡れた手でリチウムイオン電池を触らないでください。感電の原因となります。
- 通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が上がり、低温やけどの原因となります。
- リチウムイオン電池を直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内など、高い温度になる場所で充電しないでください。
(充電温度範囲：0℃～+45℃) 高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、怪我の原因となるため直ちに水で洗い流してください。また、機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

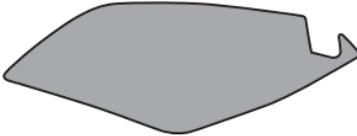
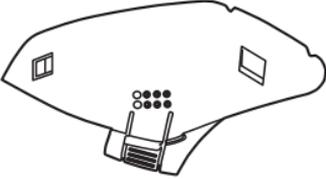
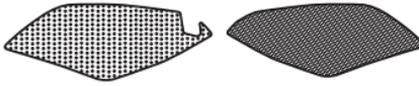
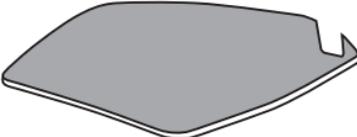
本製品の特徴

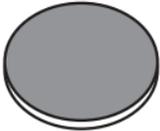
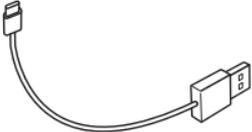
- 通話時間は連続通話で約 12 時間可能
- 防水性能 IP67 相当
- 通信距離は、見通し距離で約 1,000m程度
※使用する環境や走行条件によって変化します
- 4人同時通話が可能
- 携帯電話2台接続、同時待受け可能。受話、終話、最終発信履歴リダイヤル、拒否、通話の切り替えが可能
- スピードダイヤル機能（3 件まで登録可能）
- ミュージックプレイヤーを接続し再生、停止、曲送り、曲戻し
- ミュージックシェア機能
- HFP または A2DP プロファイルのナビゲーションおよびリーダーに接続可能
- バックグラウンドミュージック機能
- G センサー搭載
- ボイスミックス
※HFP もしくは HSP プロファイルの機器に限ります
- ヘルメットへの取り付けは、クリップ方式と両面テープ接着方式で殆どのヘルメットへ装着が可能
- ブーム型とケーブル型の2種類のマイク付属でフルフェイスでもマイクが邪魔になりません
- Bluetooth バージョン 4.2 を使用し、プロファイルは HSP、HFP、A2DP、AVRCP に対応
- インカム通話自動復帰
- パソコンによる機能の変更、追加が可能
※MacOS、Windows 8.0 および 8.1 はご利用できません
- 2スピーカー仕様でステレオ再生に対応
- 日本語音声案内
- 操作しやすい形状
- カラーパネル（オプション）

商品内容

以下が商品パッケージ構成内容となります。最初に、全て揃っているかご確認の上ご使用ください。万が一不足部品がございましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

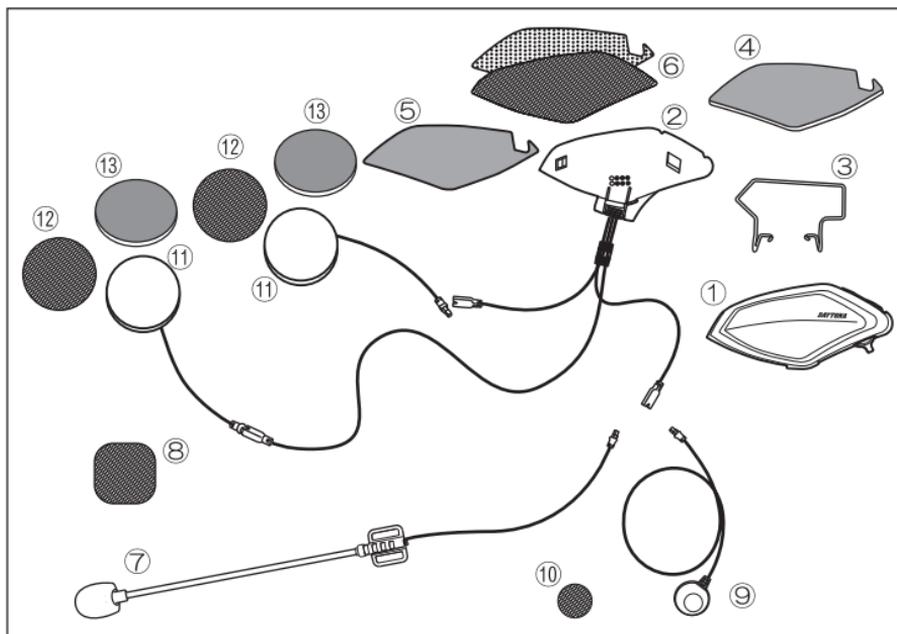
※カッコ内は「98914（2個入り商品）」に梱包されている個数です。

	
<p>①本体ユニット X 1 (2)</p>	<p>⑤ベースプレート固定用 両面粘着シート X 1 (2)</p>
	 <p>オス メス</p>
<p>②ベースプレート X 1 (2)</p>	<p>⑥ベースプレート固定用面 ファスナー (オス、メス) X 1 (2)</p>
	
<p>③ベースクリップ X 1 (2)</p>	<p>⑦マイク (ブーム型) X 1 (2)</p>
	
<p>④ベースプレート保護用 ラバー X 1 (2)</p>	<p>⑧マイク (ブーム型) 固定用 面ファスナー (メス) X 1 (2)</p>

	
<p>⑨マイク（ケーブル型）×1（2）</p>	<p>⑬スピーカー位置調整用 パッド×2（4）</p>
	
<p>⑩マイク（ケーブル型）固定用 面ファスナー（メス）×1（2）</p>	<p>⑭USB Type-C ケーブル×1（2）</p>
	
<p>⑪ヘルメットスピーカー×2（4）</p>	<p>⑮アルコールクリナー×1（2）</p>
	
<p>⑫スピーカー固定用 面ファスナー（メス）×2（4）</p>	<p>⑯取扱説明書（本紙）×1</p>

各部の名称と役割

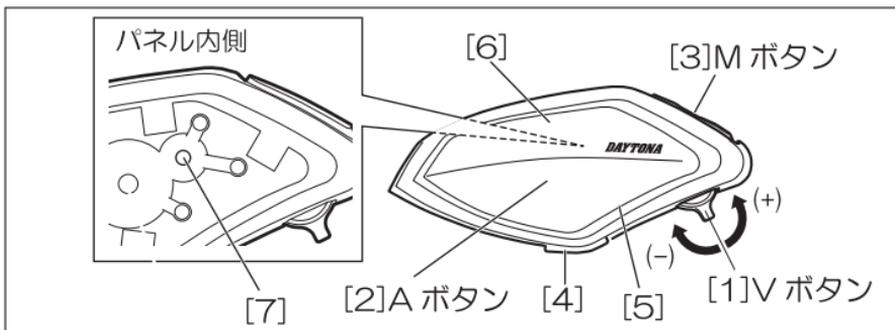
1. DT-01 の構成



No.	名称	機能
①	本体ユニット	インカム通話や音楽の再生など、すべての操作を本体ユニットで行います。
②	ベースプレート	本体ユニットと各マイク、スピーカーを接続し、ヘルメットに固定するための基幹パーツです。 3種類の固定方法の中から、ヘルメットタイプに合わせた固定方法を選択し、しっかりと固定することができます。
ベースクリップで取り付ける場合		
③	ベースクリップ	ヘルメットの縁の部分に挟み込んで固定します。
④	ベースプレート保護用ラバー	ベースプレート保護用ラバーで、ヘルメットの傷つきを防ぎ、固定力を高めます。

貼り付ける場合		
⑤	ベースプレート固定用両面粘着シート	粘着シートで直接ベースプレートとヘルメットを固定します。脱着はできませんが、確実に固定できます。
⑥	ベースプレート固定用面ファスナー（オス、メス）	ヘルメットとベースプレートに貼った面ファスナーで固定します。取り付け後も、ベースプレートを脱着できます。
マイク（ブーム型）		
⑦	マイク（ブーム型）	ジェットヘルメットタイプに最適なマイクです。 お好みの位置にマイクをセットできます。
⑧	マイク（ブーム型）固定用面ファスナー（メス）	マイク（ブーム型）をヘルメットに固定します。取り付け後も、取り外しや位置を調整できます。
マイク（ケーブル型）		
⑨	マイク（ケーブル型）	フルフェイスヘルメットなど固定されたチンガードが備わっているヘルメットに適したマイクです。薄型マイクを採用し、口元にスペースの無いヘルメットに最適です。
⑩	マイク（ケーブル型）固定用面ファスナー（メス）	マイク（ケーブル型）をヘルメットに固定します。取り付け後も、取り外しや位置を調整できます。
スピーカー		
⑪	ヘルメットスピーカー（左右共通）	音質を重視した直径約 40 mm、厚さ約 10 mm の薄型スピーカーです。
⑫	スピーカー固定用面ファスナー（メス）	面ファスナーでスピーカーをヘルメットに固定します。取り付け後も、位置を調整できます。
⑬	スピーカー位置調整用パッド	必要に応じてパッドを入れ、耳とスピーカーの距離を調整します。

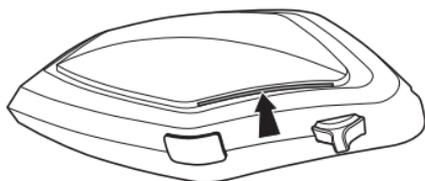
2. DT-01 本体



No.	名称	機能
[1]	V ボタン	ボリューム調整、音楽の曲送り / 曲戻しに使用します。
[2]	A ボタン	インカムへのペアリング、通話の開始 / 終了に使用します。
[3]	M ボタン	各種Bluetooth機器へのペアリング、携帯電話の操作、音楽の再生 / 停止に使用します。
[4]	USB Type-C 端子	充電、パソコンとの接続に使用します。
[5]	LED ランプ	内蔵バッテリーの充電状態や各種操作の結果を表示します。
[6]	A ボタンカバーパネル	標準色は黒。オプションで設定された色の中から、お好みの色のプレートに着せ替えることができます。 ※ カラーパネルの取り外し方については、P.16 (A ボタンカバーパネルの取り外し) をご参照ください。
[7]	リセットボタン	[6] のパネルを取り外した内側にあります。通信が不安定なときや、ボタン操作ができない (フリーズした) 場合に使用します。 ※ 強制的に電源が OFF になるボタンです。ペアリング情報はリセットされません。ペアリング情報のリセットについては、P.50 (オールリセット) をご参照ください。

【Aボタンカバーパネルの取り外し】

Aボタンカバーパネルと本体の隙間（LED ランプ発光部）に、先端の細いマイナスドライバーなどを傷が付かないように注意して差し込み、パネルを上側へ取り外します。



使用前の準備

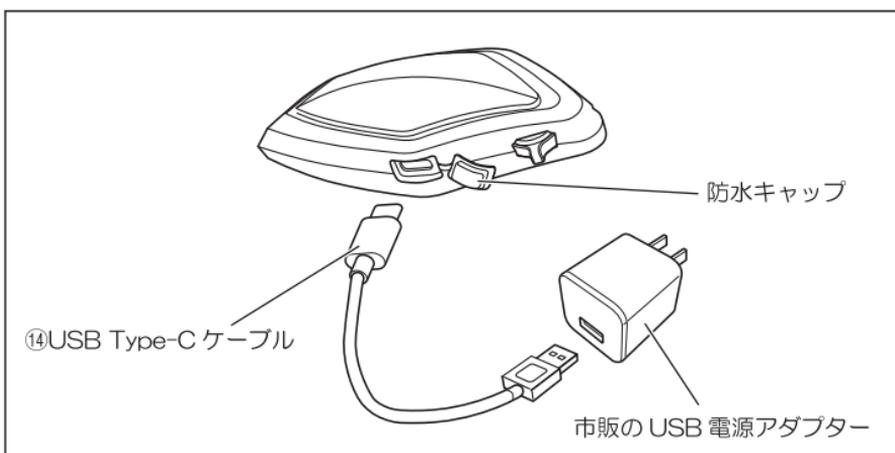
1. バッテリーの充電

DT-01 は本体にバッテリーを内蔵しています。

内蔵バッテリーを充電する際は、本体ユニット、付属の USB Type-C ケーブルおよび市販の USB 電源アダプターをつなぎコンセントへ差し込んでください。USB 電源アダプターの他に、iPhone 用 USB 電源アダプターも使用できます。

充電中は、LED ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると、青色に変わります。

バッテリー残量 0% から 100% までの充電時間は 5V / 1.0A の充電器で約 2.5 時間です。



⚠注意

- 初めて使用するときは、必ず充電を行ってからご使用ください。
- 本製品にUSB電源アダプターは付属致しません。
市販のUSB電源アダプター（定格 DC5V-0.8A 以上）をご用意ください。
- 充電時間は使用する充電器により異なります。
- 市販のポータブルバッテリー（出力 5V / 1.0A）等を接続した状態で使用可能ですが、防水キャップを開けた状態となるため、防水性が無くなります。

2. 電源の ON/OFF

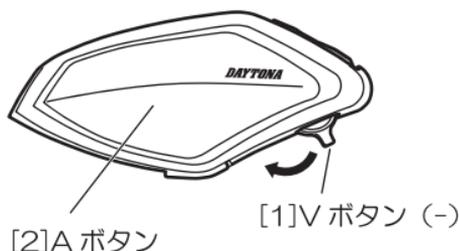
【電源 ON】

[1]V ボタンをマイナス (-) 方向へ押しながら、[2]A ボタンを約 4 秒間押し続けます(図 1)。LED ランプが青色に点灯し、スピーカーから「電源が入りました」の音声案内後、バッテリー残量の音声が流れます。

【電源 OFF】

[1]V ボタンをマイナス (-) 方向へ押しながら、[2]A ボタンを約 4 秒間押し続けます(図 1)。LED ランプが赤色に点灯し、スピーカーから「電源を切ります」の音声が流れ、ファームウェアバージョンとバッテリーの残量状態を音声案内でお知らせします。

図 1



3. バッテリー残量の音声案内

電源を OFF にすると内蔵バッテリーの残量を音声で案内します。

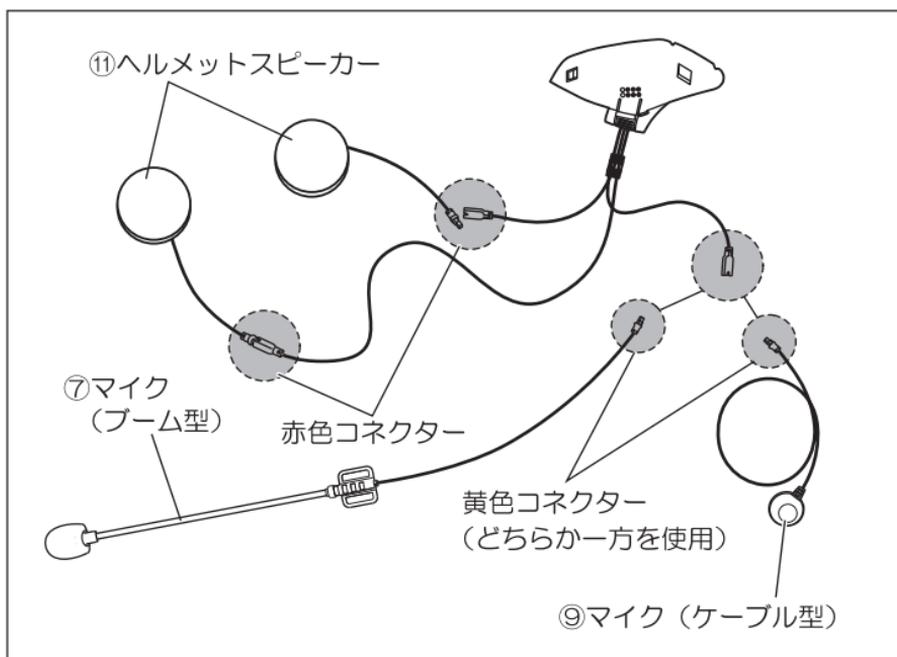
音声案内	内蔵バッテリーの状態
バッテリー残量はフルです。	約 12 時間程度使用可能です。
バッテリー残量は 80 % 以上です。	約 10 時間程度使用可能です。
バッテリー残量は 50 % 以上です。	すぐに充電が必要ではありません。 約 5 時間程度使用可能です。
バッテリー残量は 約 25 % 以上です。	そのままでも約 2 時間程度使用可能ですが、充電してからの使用をおすすめします。
バッテリー残量は 約 10% 以上です。	充電が必要です。 充電を行ってください。
バッテリー残量は ゼロです。	充電が必要です。 充電を行ってください。

ポイント

バッテリー残量が少なくなると、LED ランプが青色点滅から赤色点滅に変わり、ビープ音でもお知らせします。

取り付け前の確認

ヘルメットに取り付ける前にケーブルをすべて接続し、実際にヘルメットで各パーツがどの位置になるのか、ケーブルの長さがどのくらいあるのかを確認します。



スマートフォンなどをペアリングし、ミュージックプレイヤーを再生して、スピーカーの音量や作動を確認することをおすすめします。

ヘルメットへの取り付け方法

1. スピーカーを取り付ける

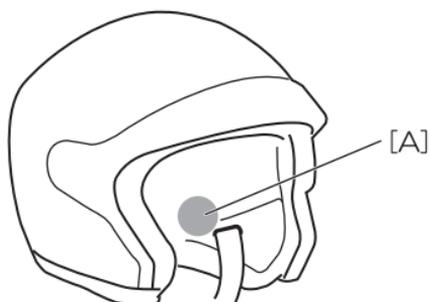
スピーカーをヘルメットの内側に取り付けます。

取り付け位置は、あご紐付け根付近の後ろ側で少し上のあたりにスピーカーがくるよう、[A]の位置を目安にします（図2）。

ポイント

面ファスナーによってスピーカーの位置が調整できます。耳の穴の中心にスピーカーがくるように調整してください。

図2



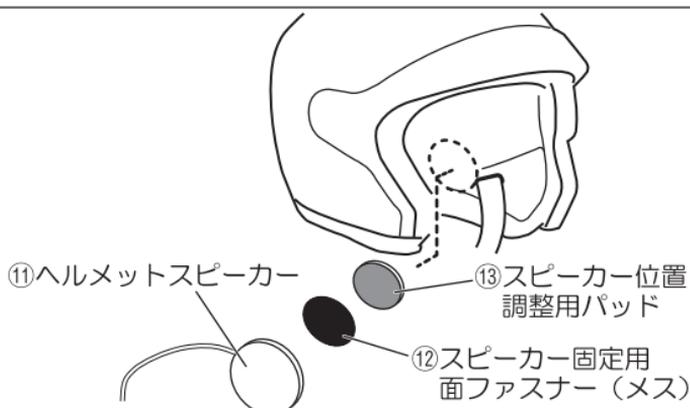
【耳の位置にスペースがあるヘルメット】

ヘルメットの内側の耳の位置に、⑫スピーカー固定用面ファスナー（メス）、⑪ヘルメットスピーカーの順で取り付けます（図3）。

ポイント

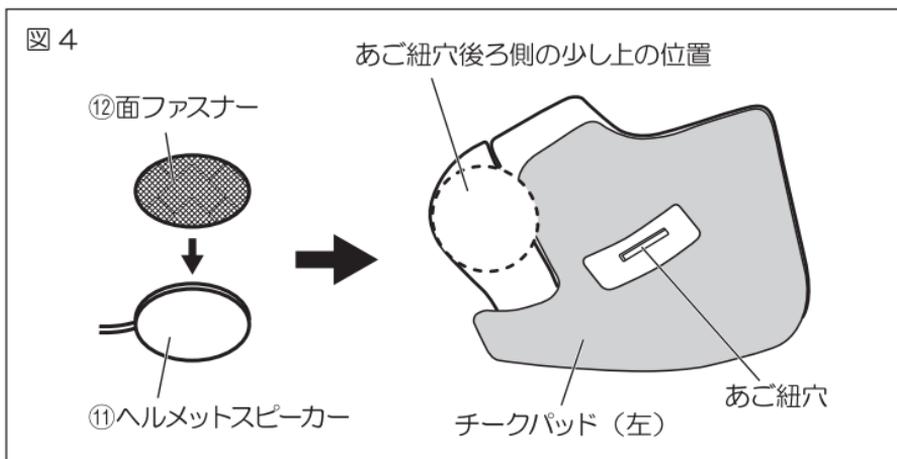
⑬スピーカー位置調整用パッドはスピーカーと耳の隙間（距離）が広く、音が聞こえにくい場合にご使用ください。

図3



【耳の位置にチークパッドが装着されており、取り外せるヘルメット】

チークパッドを取り外し、⑫面ファスナーを貼り付けた⑪ヘルメットスピーカーをチークパッドカバーの中へ入れて固定します（図4）。



ポイント

ジェットヘルメットやフルフェイスヘルメットでシールドを開いていたり、外部からの音がヘルメット内に入りやすい場合は、スピーカーからの音声聞き取りにくくなります。

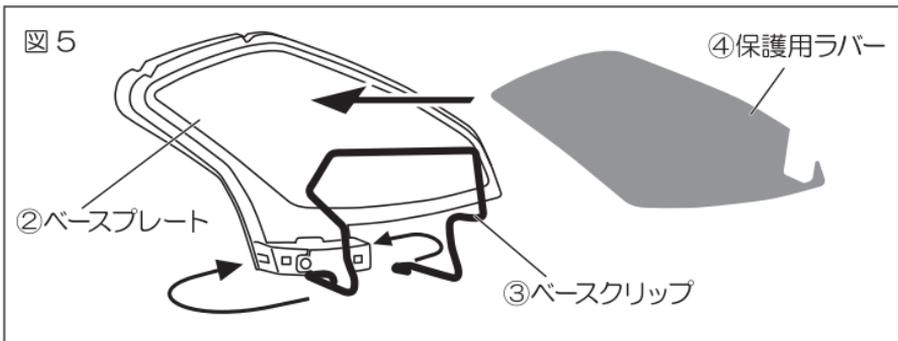
また、耳とスピーカーの位置が近いほど音質は良くなります。

2. ベースプレートを取り付ける

ベースプレートの取り付けは、「ベースクリップ・面ファスナー・両面粘着シート」の3種類から、使用するヘルメットの形状などに応じて、いずれかの方法を選択してください。ベースプレートを取り付ける際は、マイクケーブル、スピーカーケーブルのとりまわしを考慮して、ベースプレートの位置を仮決めしてください。

【ベースクリップで取り付ける場合】(図5)

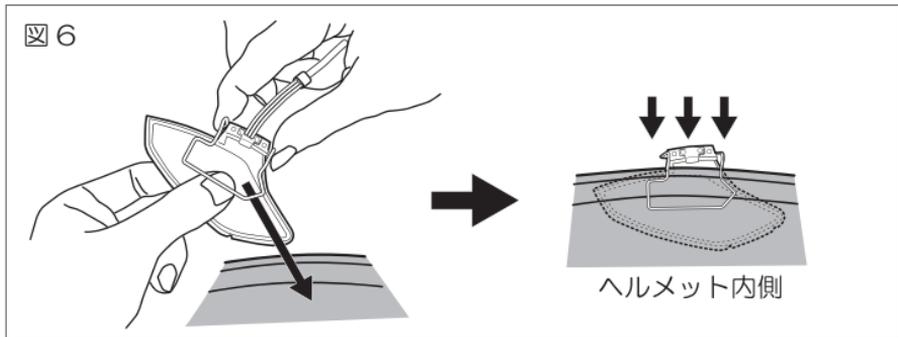
1. ④保護用ラバーを②ベースプレートに貼り付けます。
2. ③ベースクリップの先端を広げて、②ベースプレート下部の穴に差し込みます。



3. ベースクリップがヘルメット内側の部品と干渉せず、ベースプレートからケーブルが出ている部分が、ヘルメットの縁に当たるまで押し込むことのできる位置に取り付けます。

アドバイス

ベースクリップを指で押し上げ、ヘルメットの縁に掛けると取り付けやすくなります(図6)。



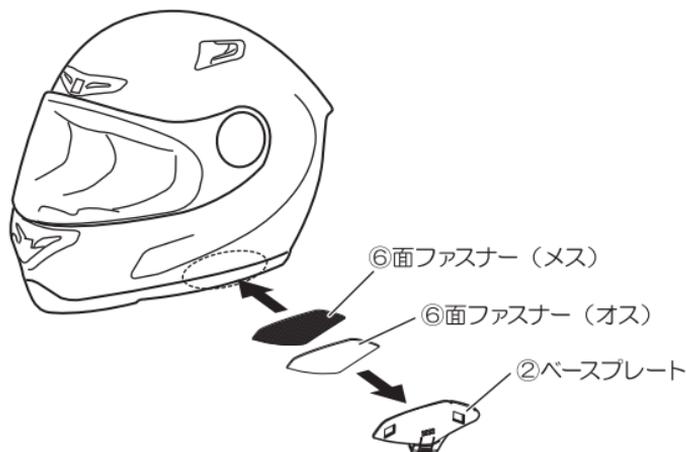
⚠注意

ベースプレートにはヘルメットに密着するようにベースクリップのスプリング力がかかっています。ベースプレートをヘルメットに取り付ける際に、ヘルメットや内装パッドに損傷を与えないように注意してください。

【面ファスナーで取り付ける場合】(図 7)

1. ⑥面ファスナー（メス）をヘルメットに貼り付けます。
2. ⑥面ファスナー（オス）をベースプレートに貼り付けます。
3. 手順 1. および 2. で貼り付けた面ファスナーで、ベースプレートをヘルメットに取り付けます。

図 7

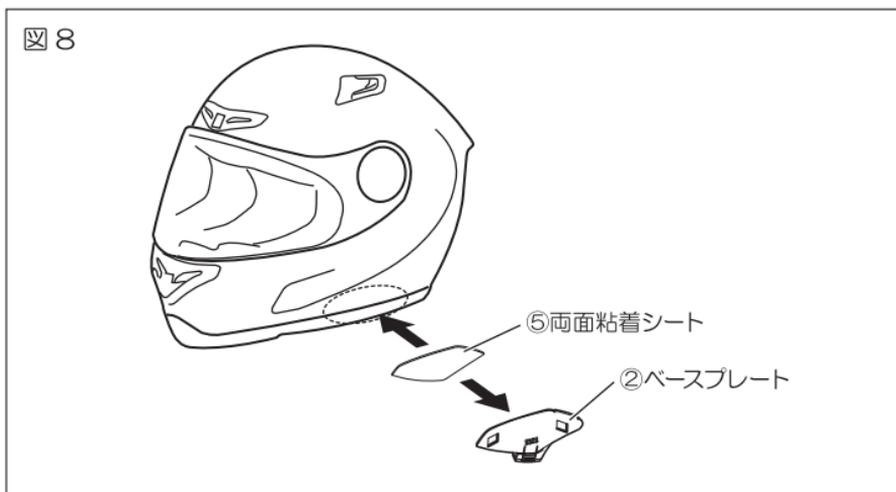


ポイント

- 貼り付け面は必ず付属の⑬アルコールクリーナーで脱脂を行ってください。
- ヘルメットの形状によりベースプレートが部分的に浮いてしまう場合は、市販の両面粘着シートなどを使用し、隙間を減らすなどして密着性を高めて使用してください。
- 貼り付け後 12 時間程度は動かさないでください。
- 取り付ける場合は、②ベースプレートに、⑥面ファスナー（オス）・（メス）を取り付けてからヘルメットに貼りつけると、取り付けやすいです。

【両面粘着シートで取り付ける場合】(図8)

1. ベースプレートに⑤両面粘着シートを貼り付けます。
2. ヘルメットにベースプレートを貼り付けます。



ポイント

- 貼り付け面は必ず付属の⑮アルコールクリーナーで脱脂を行ってください。
- ヘルメットの形状によりベースプレートが部分的に浮いてしまう場合は、市販の両面粘着シートなどを使用し、隙間を減らすなどして密着性を高めて使用してください。
- 貼り付け後 12 時間程度は動かさないでください。
- 取り付ける場合は、②ベースプレートに、⑤両面粘着シートを取り付けてからヘルメットに貼りつけると、取り付けやすいです。

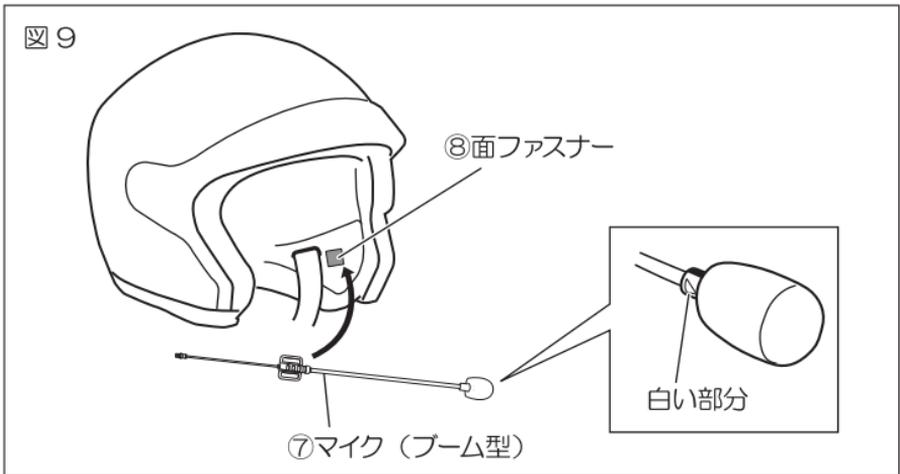
3. マイクを取り付ける

「ブーム型」と「ケーブル型」の 2 種類のマイクが付属しています。風の巻き込みができる限り少なく口元に近い位置に取り付けられるよう、ヘルメットの仕様に合わせていずれかを選択してください。

【ブーム型】

ジェットヘルメットなどのオープンフェイスタイプのヘルメット

1. チークパッドを取り外します。
2. ヘルメット左側の内側に⑧面ファスナーを貼り付け、⑦マイクを取り付けます。このとき、マイクの白い部分が口の方を向くようにします(図 9)。
3. 手順 1. で取り外したチークパッドを取り付けます。



アドバイス

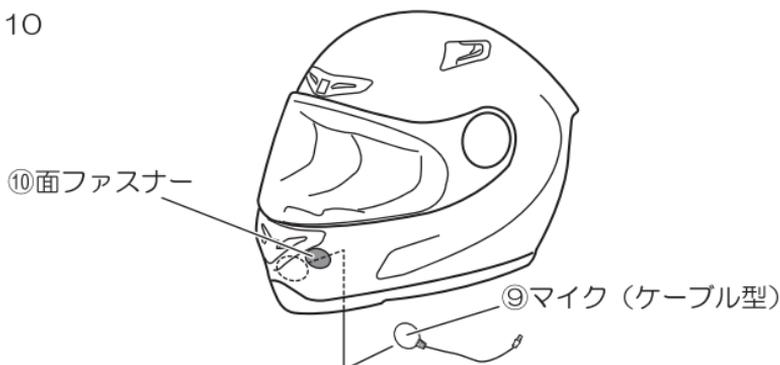
- チークパッドの取り外しができないヘルメットは、ヘルメットの外側に取り付けてください。
- マイクの位置は、マイクがシールド内に収まるようにし、口元から 1～2cm の位置に合わせます。

【ケーブル型】

フルフェイスヘルメットなど固定されたチンガードが備わっているヘルメット

1. チンガードの口元に近い位置に⑩面ファスナーを貼り付け、⑨マイクを取り付けます。
2. チークパッドとヘルメットの間隙にケーブルを収納します（図 10）。

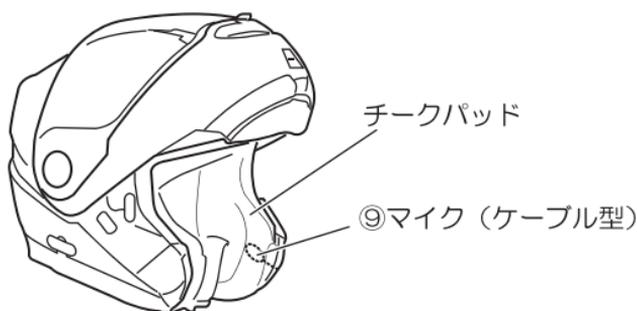
図 10



システムヘルメットなど可動式のチンガードが備わっているヘルメット

1. チークパッドを取り外します。
2. 取り外したチークパッドの布の中へ⑨マイクを入れて、出来るだけ口元に近い位置に取り付けます（図 11）。

図 11

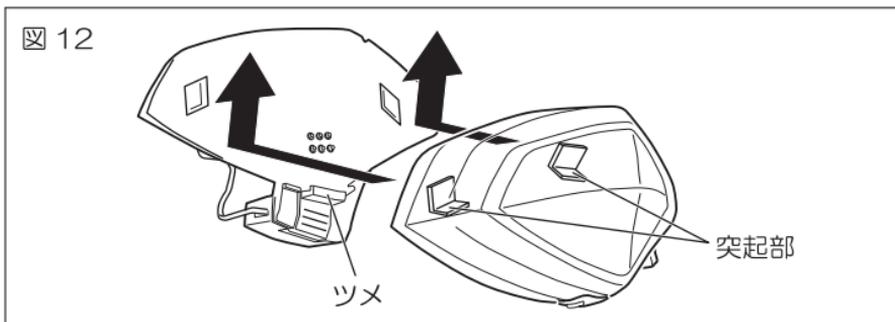


⚠注意

- マイク先端のスポンジは、マイクに風切音が入らないようにするものです。取り付けない状態で、マイクに風があたると大きなノイズとなって通話音声に入ってしまうので、常に取り付けた状態でご使用ください。
- ブーム型のマイクの位置を調整する際には、マイクが外れる恐れがあるので、アーム部分を無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 可動部分やパッドのファスナー部分にワイヤーが干渉しないように注意してください。

4. 本体ユニットを取り付ける

本体ユニット裏側の突起部分を、ベースプレートの穴に合わせて差し込み、上方向にスライドさせながら、ベースプレート下部のツメに本体ユニットをはめ込み固定します（図 12）。

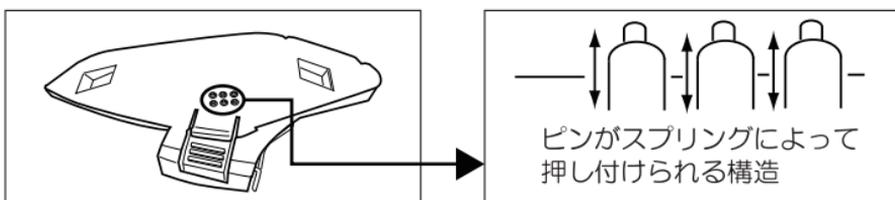


ポイント

本体ユニットがベースプレートのツメにしっかり固定されていることを確認します。

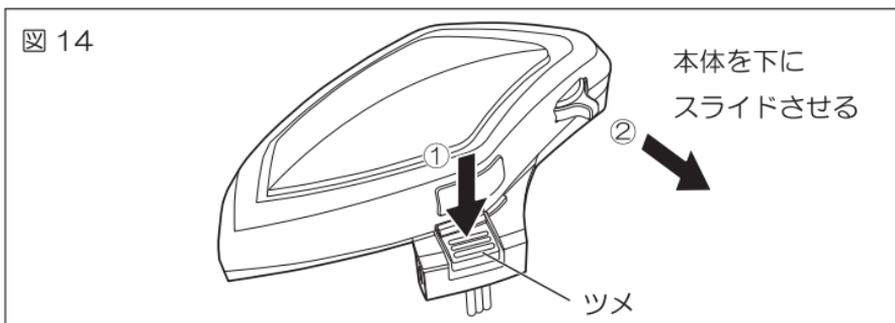
注意

本体ユニットとベースプレートの接続は、ベースプレートのピンがスプリングによって押し付けられる構造になっています。スピーカーから音が聞こえない、自分の音声が相手に伝わらない、などの症状がある場合はベースプレートを確認してください（図 13）。不具合が確認できた場合は弊社までお問い合わせください。



【本体ユニットの取り外し】

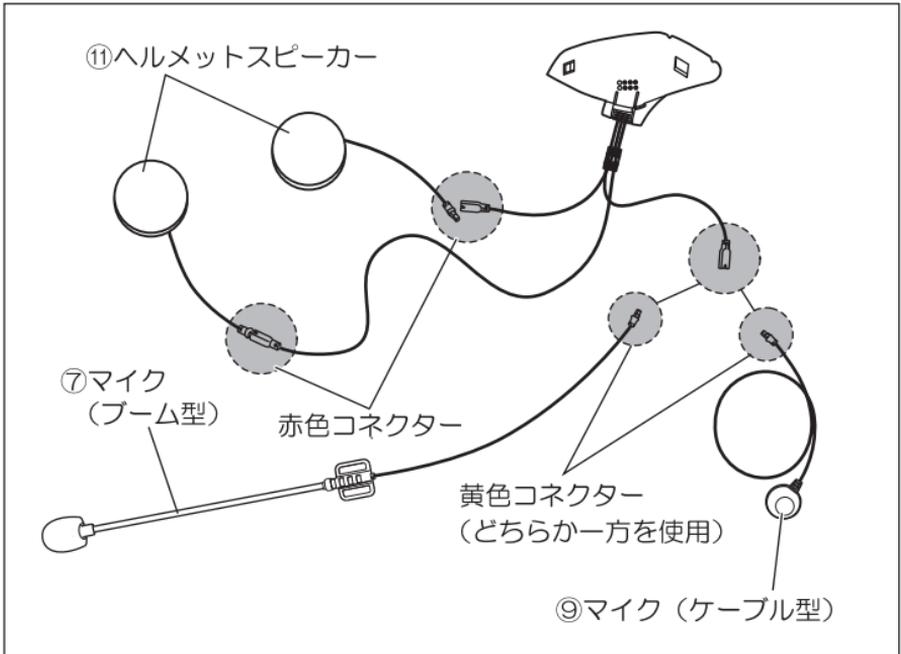
ベースプレート下部のツメを①の方向に押しつけてロックを外しながら、②の方向にスライドさせ本体ユニット裏側の突起部をベースプレートから抜き、取り外します（図 14）。



5. ケーブルを配線する

ベースプレートから出ているケーブルとマイクおよびスピーカーから出ているケーブルを下記の組み合わせで接続します。

接続したケーブルを、ヘルメットとパッドの間に収納します。



ポイント

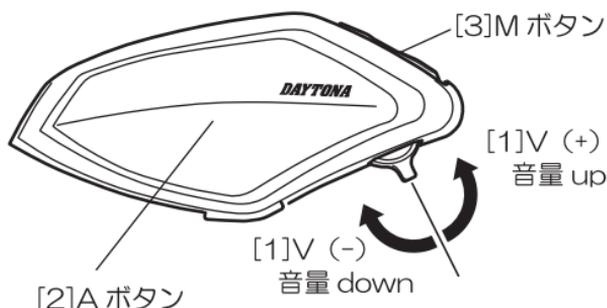
- スピーカーは、左右共通品です。
- ケーブルはパッドを取り外し、ヘルメットとパッドの間に通します。パッドが取り外せない場合は、ヘルメットとパッドの間にケーブルを押し込んで収納します。

これでDT-01 の取り付けは完了です。

音声案内の音量調整

1. 電源が ON の状態で、[3]M ボタンを LED ランプが赤と青の交互点滅になるまで約 4 秒程度押し続けます。
2. [1]V ボタンで音量を調整します (図 15)。
([1]V (+) : 音量 up、[1]V (-) : 音量 down)

図 15



- [1]V ボタンを 1 回ずつ短く操作することにより、音量が変化します。
 - iPhone の着信音量の調整は、iPhone 本体で行ってください。
3. [1]V ボタンをマイナス (-) 方向へ押しながら [2]A ボタンを約 4 秒間押し続け、電源を OFF にして完了です。

注意

- この調整は「音声案内」の音量調整です。通話音や音楽再生中の音量調整とは異なります。各音量調整は、通話中、音楽再生中にしかできません。
- 音量 UP・DOWN は最大または最小まで行くと「ピー」というピーブ音がします。
- 音声調整中に「プー」というピーブ音がしますが、ペアリング音です。故障ではありません。

DT-01 同士で話す

1. グループトークするための初期登録

(A、B、C、D、4 台のペアリングの例で説明しています。)

DT-01 を装着したヘルメットをかぶったまま、ペアリング操作をするだけで、簡単に最大 4 人までのグループトークが可能です。

G センサーを搭載しているので、ボタンを押しながらヘルメットを叩くだけでペアリングモードにすることができます。

短時間でグループペアリングが可能です。

グループトークを開始するのも簡単。

グループの誰かがボタンを 1 回押すだけで、グループトークが開始されます。

さらに、グループから離れて通話が途切れてしまっても、通信圏内に戻れば自動的にグループへ戻ることができます。

● ペアリング操作

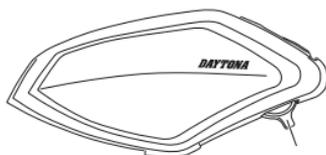
DT-01 を最大 4 台までまとめて、1 回でペアリング可能です。

一度ペアリングを行えば、電源の OFF、ON のたびにペアリング操作の必要はありません。

違うメンバーと通話をしたい場合は、新しいメンバーでペアリングし直す必要があります。

1. すべての DT-01 を電源 ON にする

- [1]V ボタンをマイナス (-) 方向に押しながら、[2]A ボタンを同時に、LED ランプが青色点灯するまで押し続ける。

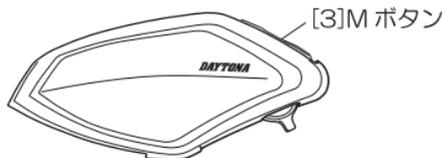


[1]V ボタン

⇒ P.17 「2. 電源の ON/OFF」

2. A以外のDT-01 (B, C, D) の3台をペアリングモードにする

- [3]M ボタンを、LED ランプが赤色 / 青色交互点滅するまで押し続ける。



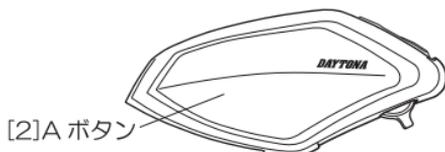
または、

- [3]M ボタンを押しながら、ヘルメットをタップ (たたく) する。



3. A をペアリングモードにする

- [2]A ボタンを、LED ランプが青色高速点滅するまで押し続ける。



または、

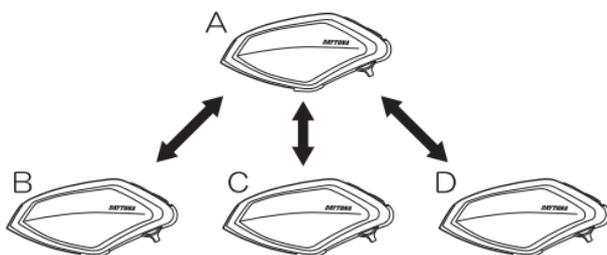
- [2]A ボタンを押しながら、ヘルメットをタップ (たたく) する。



4. 接続を待つ

- A (3. の操作をした DT-01) と、他の DT-01 が順に接続されるのを待つ。(操作は必要ありません。)

ペアリング中は「プー、プー」とピープ音が聞こえます。



ペアリングが完了すると、完了した DT-01 ごとに LED ランプが青色2回、緑色1回の交互点滅に変化し、「ペアリング完了」との音声案内でお知らせします。ペアリングが完了すると自動で通話状態になります。

アドバイス

スマートフォンなどを接続したままの状態ペアリングを行うことができます。スマートフォンなどを同時接続する場合は、スマートフォンのペアリングを先に行ったあとに、グループトークペアリングをした方が安定した状態でご利用いただけます。

ポイント

P53「ファームウェアのアップデートと機能を調整する」の操作で、G センサーを OFF にしている場合は、[2]A ボタンまたは [3]M ボタンを押しながら、ヘルメットをタップ（たたく）してもペアリングモードになりません。

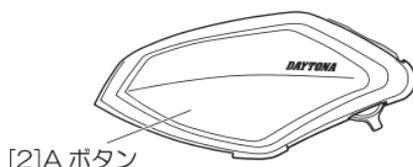
⚠️注意

近くに他の Bluetooth 機器や Wi-Fi 環境があるような場所では、ペアリングに時間がかかったり、上手くペアリングができない場合があります。

2. グループトークを開始する

1. 呼び出しを行う（いずれか1台のみ操作）

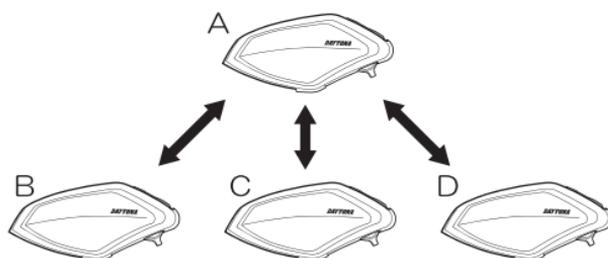
- [2]A ボタンを 2 回押す。



「通話開始」の音声案内が聞こえます。

2. 接続を待つ

- [2]A（1.の操作をした DT-01）と、他の DT-01 が順に接続されるのを待つ。（操作は必要ありません。）

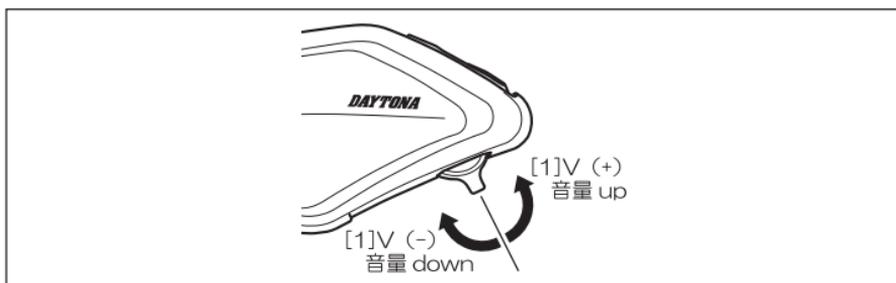


通話が開始された DT-01 ごとに、LED ランプが青色 2 回、緑色 1 回の交互点滅に変化します。

他のBluetooth機器を同時接続した場合、LED ランプが青色 3 回、緑色 1 回の交互点滅します。

3. 通話音量の調整

通話中に [1]V ボタンを操作すると、音量を調整することができます。
([1]V (+) : 音量 up、[1]V (-) : 音量 down)

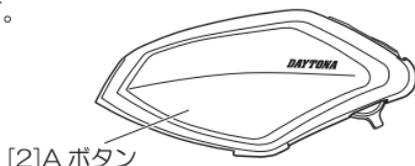


- [1]V ボタンを1回ずつ短く操作することにより、音量が変化します。
- 音量の調整は通話中のみ有効です。

4. グループトークを終了する

1. 通話を終了する

- 通話を終了したい DT-O1 (A、B、C、D いずれか) の [2]A ボタンを、1 回押す。



操作の完了を、「通話を終了します」との音声案内でお知らせします。

アドバイス

- 通話中に、グループトークの相手と距離が離れて通信圏外となった場合、次の過程を経て自動で再接続を行います。
 1. 「接続が切れました」または「通話を終了します」の音声案内
 2. 10秒以内に通信圏内に戻らない場合、「自動再接続に失敗しました」の音声案内
 3. その後、接続可能な DT-O1 を探し続けます。(探している間は、約15秒間隔で「ピポッ」というピーブ音が聞こえます。)
- 使用する状況や周囲の環境などにより、音声案内を繰り返すことがあります。また、自動再接続をしてもピーブ音が鳴ることがあります。その場合は、一旦通話を手動で終了させてから、再度手動で通話を開始してください。
- 3人以上のグループトーク中にメンバーが増減すると、設定した通話音量が変化する場合がありますが、異常ではありません。通話音量が変化した場合は、再度音量の調整を行ってください。

⚠️注意

- グループトーク中は、特定の相手を選択して1対1での通話はできません。
- 通話が途切れ、接続相手を探している間は、再生中の音楽やバイクナビ、バイクレーダーの音声案内が途切れることがあります。
- 「通話開始後の接続に時間がかかる」、「接続できない」、「接続が明らかに不安定」な場合は、一旦通話を手動で終了させてから、再度手動で通話を開始してください。

COOLROBO GT / GT2 / Easy Talk 3 や 他社のインカムと話す

⚠️注意

他社インカムとの接続・動作・通信距離・通話品質は保証致しかねます。

1. COOLROBO GT / GT2 / Easy Talk 3 や他社の インカムと話すための初期登録（ペアリング）をする

1. 電源をONにする

【DT-01 の操作】

- [1]V ボタンをマイナス(-)方向へ押しながら [2]A ボタンを同時に、LED ランプが青色点灯するまで押し続ける。

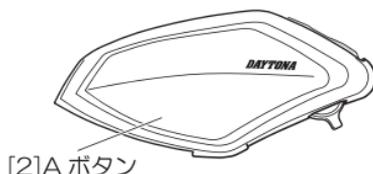


⇒ P.17 「2. 電源の ON/OFF」

2. ペアリングモードにする

【DT-01 の操作】

- [2]A ボタンを、LED ランプが青色高速点滅するまで押し続ける。



または、

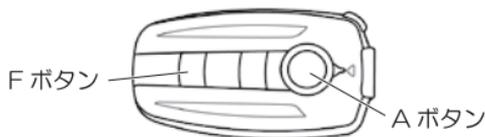
- [2]A ボタンを押しながら、ヘルメットをタップ（たたく）する。



3. 電源を ON にする

【COOLROBO GT/GT2/Easy Talk 3 の操作】

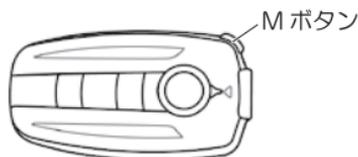
- F ボタンと A ボタンを、LED ランプが青色点灯するまで押し続ける。
※Easy Talk3 はマイナス (-) ボタンと A ボタンを押す。



4. ペアリングモードにする

【COOLROBO GT/GT2/Easy Talk 3 の操作】

- M ボタンを、LED ランプが赤色 / 青色交互点滅するまで押し続ける。



5. 電源を ON にする

【他社インカムの操作】

- 他社インカムの取扱説明書参照。

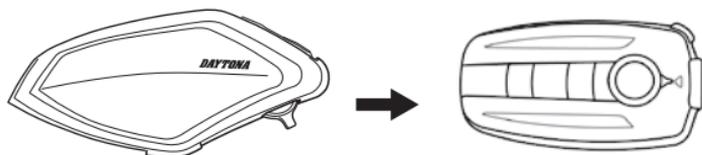
6. ペアリングモードにする

【他社インカムの操作】

- 携帯電話をペアリングモードにするのと同じ操作でペアリングモードにする。他社インカムの取扱説明書参照。

7. 接続を待つ

- DT-01 と 4. または 6. の操作をしたインカムが接続されるのを待つ。(操作は必要ありません。)



ペアリングが完了すると、DT-01 の LED ランプが青色 2 回、緑色 1 回の交互点滅に変化し、「ペアリング完了」との音声案内でお知らせします。

ポイント

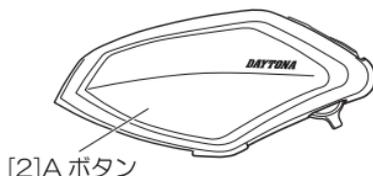
P.53「ファームウェアのアップデートと機能を調整する」の操作で、G センサーを OFF にしている場合は、[2]A ボタンを押しながら、ヘルメットをタップ（たたく）してもペアリングモードになりません。

2. COOLROBO GT / GT2 / Easy Talk 3 や他社のインカムとの通話を開始する

1. 呼び出しを行う

【DT-01 の操作】

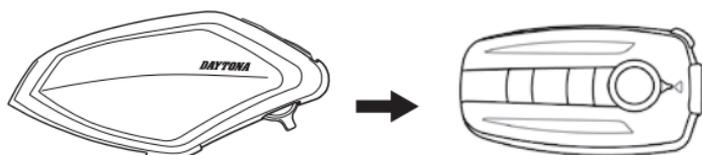
- [2]A ボタンを 3 回押す。



「通話開始」の音声案内が聞こえます。

2. 接続を待つ

- 1. の操作をした DT-01 と、他のインカムが接続されるのを待つ。(操作は必要ありません。)



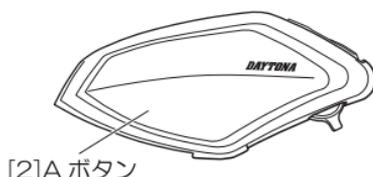
通話が始まると、「プップ」 というピープ音が聞こえたあとに、DT-01 の LED ランプが青色 2 回、緑色 1 回の交互点滅に変化します。

3. COOLROBO GT / GT2 / Easy Talk 3 や他社のインカムとの通話を終了する

1. 通話を終了する

【DT-01 の操作】

- [2]A ボタンを、1 回押す。



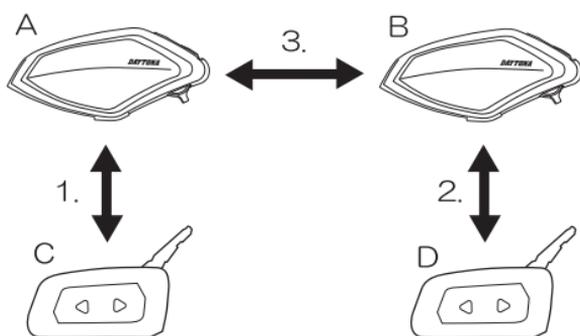
操作の完了を、「通話を終了します」との音声案内でお知らせします。

4. COOLROBO GT / GT2 / Easy Talk 3 や他社のインカムとグループトークする

【接続例】

DT-01 が2台と他社インカムが2台の合計4台の場合の接続順序

1. AのDT-01とCの他社インカムをペアリング
⇒ P.34「COOLROBO GT / GT2 / Easy Talk 3 や他社のインカムと話すための初期登録（ペアリング）をする」
2. BのDT-01とDの他社インカムをペアリング
⇒ P.34「COOLROBO GT / GT2 / Easy Talk 3 や他社のインカムと話すための初期登録（ペアリング）をする」
3. AのDT-01とBのDT-01をペアリング
⇒ P.30「グループトークするための初期登録」

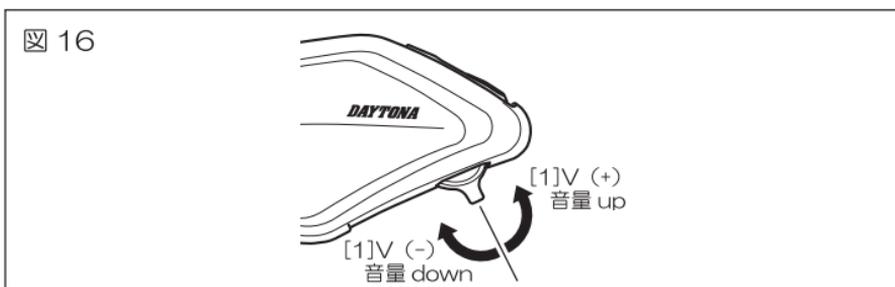


ペアリングが完了すると、DT-01のLEDランプが青色2回、緑色1回の交互点滅に変化し、「ペアリング完了」との音声案内でお知らせします。

5. 通話音量の調整

通話中に [1]V ボタンを操作すると、音量を調整することができます (図 16)。

([1]V (+) : 音量 up、[1]V (-) : 音量 down)



- [1]V ボタンを1回ずつ短く操作することにより、音量が変化します。
- 音量の調整は通話中のみ有効です。

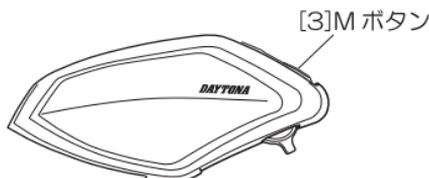
Bluetooth機器の接続

1. Bluetooth機器（バイクナビ、バイクレーダーまたはスマートフォンなど）と接続するための初期登録（ペアリング）をする

1. DT-01 をペアリングモードにする

【DT-01 の操作】

- 電源が ON の状態で [3]M ボタンを、LED ランプが赤色 / 青色交互点滅するまで押し続ける。



または、

- [3]M ボタンを押しながら、ヘルメットをタップ（たたく）する。



2. Bluetooth機器をペアリングモードにする

【Bluetooth機器の操作】

- Bluetooth機器側の Bluetooth を ON にする。
- 登録可能機器リストから「DT-01」を選択する。
- 「接続済み」等の表示で完了。
※ PIN コードが必要な場合は「0000」（ゼロ 4 つ）

ペアリングが完了すると、DT-01 の LED ランプが青色で 3 回ずつの点滅に変化し、「ペアリング完了」との音声案内でお知らせします。

ポイント

P.53「ファームウェアのアップデートと機能を調整する」の操作で、G センサーを OFF にしている場合は、[3]M ボタンを押しながら、ヘルメットをタップ（たたく）してもペアリングモードになりません。

2. ペ어링済みBluetooth機器と接続する

ペ어링済みBluetooth機器との接続には、①「自動接続」②「マニュアル接続」③「Bluetooth機器側の操作で接続」の3種類の方法があります。通常は①の方法で接続します。接続できない場合に、②③の方法をお試しください。Bluetooth機器と接続されると「接続しました」の音声案内が聞こえます。

●自動接続

DT-01 は電源を ON にすると、ペ어링済みBluetooth機器を数秒間自動で探して接続を行います。

1. ペ어링済みBluetooth機器のBluetooth を ON にします。
⇒ 詳しくは対象機器の取扱説明書をご参照ください。
2. DT-01 の電源を ON にします。
⇒ P.17「電源のON/OFF」

●マニュアル接続

自動接続ができなかった場合、マニュアル操作で接続を行います。

DT-01 の [3]M ボタンを短く1回押します。

●Bluetooth機器側の操作で接続

自動接続およびマニュアル接続での再接続ができなかった場合、Bluetooth機器側を操作して接続を行います。

Bluetooth機器側のBluetooth を ON にして、登録機器リストの中から「DT-01」を選択します。

⇒ 詳しくは対象機器の取扱説明書をご参照ください。

携帯電話を使う

スマートフォンなどの携帯電話と接続することで、DT-01 をハンズフリーとして使用することができます。

⇒ P.38「Bluetooth機器の接続」

⇒ P.39「ペアリング済みBluetooth機器と接続する」

1. 着信設定

●手動着信設定

着信があったとき、[3]M ボタンを操作して通話を開始する設定です。
(工場出荷時はこの設定です。)

[設定方法]

電源が ON のときに、[3]M ボタンと [1]V(-) ボタンを同時に長押し(約 8 秒)すると、「携帯電話着信設定手動着信」の音声案内が聞こえ、手動着信に設定されます。

●自動着信設定

着信して約 10 秒後に自動で通話が開始される設定です。

[設定方法]

電源が ON のときに、[3]M ボタンと [1]V(+) ボタンを同時に長押し(約 8 秒)すると、「携帯電話着信設定自動着信」の音声案内が聞こえ、自動着信に設定されます。

2. ハンズフリーで電話をする

ポイント

- インカム通話中にハンズフリーで電話着信をした場合、インカム通話は一時的に終了します。
- 電話が終話すると、自動でインカム通話に戻ります。
- Android OS 端末を使用する場合、着信音は、DT-01 の電子音が聞こえます。携帯電話で設定した着信音は鳴りません。

●着信応答

着信音が鳴ったら、[3]M ボタンを1回押して通話開始。

または、着信音が鳴っているときに、ヘルメットを1回たたく(タップする)ことでも通話を開始することができます。

■[3]M ボタンを、1回押す。



または、

■ヘルメットをタップ(たたく)する。



●着信拒否

着信音が鳴っているときに、[3]M ボタンを長押し(約3秒)で着信を拒否することができます。

自動着信に設定しているときは、着信音が鳴ってから10秒以内に[3]M ボタンを長押し(約3秒)することで、着信を拒否することができます。

●終話

相手が電話を切るか、[3]M ボタンを1回押して終話。

または、通話中にヘルメットを1回たたく(タップする)ことでも終話することができます。

●リダイヤル

[3]M ボタンを2回連続で押すと「リダイヤル」の音声案内が聞こえ、接続している携帯電話の最終発信履歴の電話番号にリダイヤルします。

ポイント

- インカム通話中は、インカム通話を終了させてからリダイヤル操作を行ってください。
- P53「ファームウェアのアップデートと機能を調整する」の操作で、G センサーを OFF にしている場合は、ヘルメットをタップ(たたく)しても携帯電話の操作はできません。

●スピードダイヤル

あらかじめパソコンで設定した電話番号へ、簡単な操作で電話を発信することができます。

スピードダイヤル 1：[3]M ボタンを 3 回連続で押す。
「スピードダイヤル 1」の音声案内が聞こえたあと、発信します。

スピードダイヤル 2：[3]M ボタンを 4 回連続で押す。
「スピードダイヤル 2」の音声案内が聞こえたあと、発信します。

スピードダイヤル 3：[3]M ボタンを 5 回連続で押す。
「スピードダイヤル 3」の音声案内が聞こえたあと、発信します。

ポイント

- スピードダイヤルを使用するには、あらかじめパソコンにて電話番号を設定しておく必要があります。
⇒ P.53「ファームウェアのアップデートと機能を調整する」
- スピードダイヤル用の電話番号は、パソコンで3件まで設定することができます。

●3者通話

DT-01 をペアトークで使用しているときに、いずれかの DT-01 に掛けてきた電話に 3 者（ペアトーク中の 2 人 + 電話を掛けてきた 1 人）で会話をすることができます。

1. 電話で通話中にどちらかの DT-01 の [2]A ボタンを 2 回押す。
3 者通話を開始します。
2. 電話で通話中にどちらかの DT-01 の [2]A ボタンを 1 回押す。3 者通話が終了します。

3. 音声認識機能（Siri）を起動する

携帯電話に接続した状態で、[3]M ボタンを長押し（約 2 秒程度）します。

ポイント

- インカム通話中は、インカム通話を終了してから操作してください。
- iOS のバージョンアップ等により使用できなくなる可能性があります。
- Android OS 端末の作動は未確認です。

音楽を楽しむ

スマートフォンや音楽プレイヤーに接続し、AAC 対応で高音質なサウンドをワイヤレスで聴くことができます。

⇒ P.38 「Bluetooth機器の接続」

⇒ P.39 「ペアリング済みBluetooth機器と接続する」

1. Bluetooth機器の操作

音楽プレイヤーを直接操作して、音楽などを再生します。

詳しい操作については、それぞれの音楽プレイヤーの取扱説明書をご参照ください。

2. DT-01 の操作

音楽プレイヤーで再生された音楽は DT-01 で操作が可能です。

● 再生 / 一時停止 *1

接続待機中に [3]M ボタン 1 回を押すごとに、「一時停止」⇔「再生」に切り替わります。

または、音楽再生中に、ヘルメットを 1 回たたく（タップする）ことでも「一時停止」⇔「再生」の切り替えができます。*2



● 曲戻し *1

音楽再生中に [1]V- ボタンを長押し（約 2 秒）します。

または、音楽再生中に、ヘルメットを 3 回たたく（タップする）ことでも一曲前の曲に戻ることができます。*2



● 曲送り *1

音楽再生中に [1]V+ ボタンを長押し（約2秒）します。

または、音楽再生中に、ヘルメットを2回たたく（タップする）ことで一曲先の曲に移動することができます。*2



ポイント

*1：AVRCP（リモコン機能）対応Bluetooth機器のみ操作可能です。

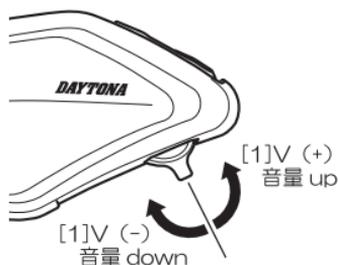
*2：P.53「ファームウェアのアップデートと機能を調整する」の操作で、G センサーを OFF にしている場合は、ヘルメットをタップ（たたく）しても音楽などの操作はできません。

- AAC とは・・・Bluetooth 音声コーデイングのひとつ。主に Apple 社製品に使用されており、一般的な Bluetooth イヤホンに採用されている「SBC」よりも、音声転送率が高く高音質なのが特徴。

【音楽再生音量の調整】

音楽再生中に [1]V ボタンを操作すると、音量を調整することができます（図 17）。（[1]V (+)：音量 up、[1]V (-)：音量 down）

図 17



- [1]V ボタンを1回ずつ短く操作することにより、音量が変化します。
- 音量の調整は音楽再生中のみ有効です。

ナビやレーダーの音声を聴く

バイクナビ、バイクレーダーまたはスマートフォンに接続し、音声案内を聴くことができます。

⇒ P.38「Bluetooth機器の接続」

⇒ P.39「ペアリング済みBluetooth機器と接続する」

1. Bluetooth機器の操作

バイクナビやバイクレーダーで音声案内を開始します。

バイクナビやバイクレーダーの詳しい操作については、対象機器の取扱説明書をご参照ください。

2. DT-01 の操作

バイクナビやバイクレーダーで音声案内を開始すると DT-01 のスピーカーから音声案内が聞こえます。

※ バイクナビやバイクレーダーのプロファイルの種類によって、聞こえ方が異なります。

A2DP のバイクナビ

(音楽プレイヤーなどと同じプロファイルを使用したバイクナビ)

携帯電話着信時：バイクナビの音声案内が停止し、電話の着信音に切り替わります。

A2DP を採用したバイクナビと音楽プレイヤーを 2 台同時接続はできません。

音楽とナビゲーションの音声案内を同時に聴きたい場合は、バイクナビに内蔵されている音楽プレイヤーで音楽を再生してください。

HSP/HFP のバイクナビとバイクレーダー

(スマートフォンなどと同じヘッドセット、ハンズフリープロファイルを使用したバイクナビとバイクレーダー)

音楽再生時：音楽とバイクナビとバイクレーダーの音声案内を同時に聴くことができます。

DT-01 同士で通話時：バイクナビとバイクレーダーの音声案内をシェアすることができます。

※ 使用環境によっては、音声案内や音楽が途切れることがあります。

※ GPS 音声設定が OFF になっているとシェアできません。

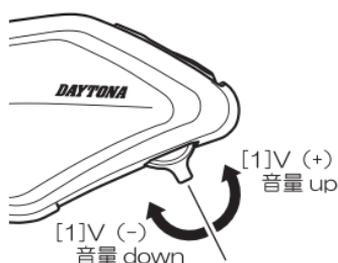
注意

HSP/HFP を使用したバイクナビとバイクレーダーの場合、携帯電話やスマートフォンと併用すると、通信状態が不安定になることがあります。

【音声案内音量の調整】

音声案内中に [1]V ボタンを操作すると、音量を調整することができます (図 18)。([1]V (+) : 音量 up、[1]V (-) : 音量 down)

図 18



- [1]V ボタンを1回ずつ短く操作することにより、音量が変化します。
- 音量の調整は音声案内中のみ有効です。

⚠注意

接続するバイクナビやバイクレーダーにより、DT-01 で音量調整ができない場合があります。その場合は、バイクナビやバイクレーダー側で音量調整を行ってください。

音楽を聴きながら会話する (バックグラウンドミュージック機能)

1. バックグラウンドミュージック機能を使用する

音楽やナビゲーションの音声案内を聴きながら、グループトークやペアトークをすることができます。(バックグラウンドミュージック機能)

「音楽プレイヤーの接続」「ミュージックプレイヤーの操作」「グループトーク / ペアトークをする」を組み合わせた、簡単な操作で行うことができます。

1. ペアリング済みの音楽プレイヤーを接続します。
2. 音楽プレイヤーを接続した DT-01 の [3]M ボタンで音楽を再生します。
3. DT-01 のスピーカーから音楽が聴こえます。
4. グループトーク / ペアトークを開始します。

⇒ P.38 「Bluetooth機器の接続」

⇒ P.43 「音楽を楽しむ」

⇒ P.30 「DT-01 同士で話す」

ポイント

再生中の音楽を一時停止したり、曲送り、曲戻しをする場合、インカム通話を一旦終了させてから停止、再生、曲送り、曲戻しの操作を行ってください。

通話を終了せずに操作すると、ミュージックシェア機能が作動します。また、バックグラウンドミュージック機能使用中は曲送り、曲戻しは [1]V ボタンを操作しても機能しません。

⚠注意

- 通話開始から数秒の間、相手の声が出力されない場合があります。
- 再生される音楽が断続的に途切れる場合は、再生を一時停止してください。
- バックグラウンドミュージック機能使用中に、距離などの影響で音声や音楽が乱れる場合があります。
- AVRCP プロファイルに対応していないオーディオトランスミッター等は、バックグラウンドミュージック機能を使用できません。

2. 「バックグラウンドミュージック機能」使用時の音量の調整

「バックグラウンドミュージック機能」使用時に、インカム通話の音量と音楽プレイヤーの再生する音声の音量バランスを、それぞれ独立して調整することができます。

●音楽の音量だけを調整したい場合

パソコンでDT-01専用ツール「DT01 Config Tool」の「A2DP 音量設定」で音量の調整をします。

⇒ P.53「ファームウェアのアップデートと機能を調整する」

●インカム通話の音量だけを調整したい場合

音楽を一旦停止し、通話のみの状態で [1]V ボタンを使用して音量調整をします。

⇒ P.43「音楽を楽しむ」

●音楽、インカム通話両方の音量を同時に調整したい場合

インカム通話中かつ音楽が聞こえているときに、[1]V ボタンを使用して音量調整をします。

⇒ P.43「音楽を楽しむ」

ポイント

DT-01 で音楽の音量を最適な音量に調整しても、バックグラウンドミュージック機能を開始するとパソコンで設定した音量になります。

バックグラウンドミュージック機能を使用する際は、あらかじめパソコンで音量設定をしておくことをおすすめします。

⇒ P.53「ファームウェアのアップデートと機能を調整する」

3. 「バックグラウンドミュージック機能」使用時の音楽やナビゲーションの音声案内について

バックグラウンドミュージック機能使用時の注意事項

- バックグラウンドミュージック機能使用中に、通話距離が離れた場合は、通信が安定する距離まで近づいてください。
- バックグラウンドミュージック機能使用中に、距離が離れ、接続が完全に切れてしまった場合でもインカム通話中であれば、接続が切れても常に接続相手を探しています。
この時、音楽が途切れたり停止することがあります。
通信可能な距離まで近づくか、インカム通話を一旦キャンセルし、仲間の近くに戻ったら、改めてインカム通話を再開してください。

音楽を2人でシェアする

スマートフォンまたは音楽プレーヤーで再生した音楽を、他の DT-01 ユーザーと共有することができます。

ミュージックシェア

「音楽プレーヤーの接続」、「トークをする」、「ミュージックプレーヤーの操作」を組み合わせた簡単な操作で行うことができます。

1. ペアリング済みの音楽プレーヤーを接続します。
2. ペアトークを開始します。
3. 音楽プレーヤーを接続した DT-01 の [3]M ボタンで音楽を再生します。
4. 「ミュージックシェア開始」「プレイ」「通話を終了します」の音声案内が聞こえて、ミュージックシェアが開始されます。
5. ミュージックシェアの終了
ミュージックシェア中に音楽プレーヤーを接続している DT-01 の [1] V (-) ボタンを 約 5 秒押し続けます。
⇒ P.38 「Bluetooth機器の接続」
⇒ P.30 「DT-01 同士で話す」
⇒ P.43 「音楽を楽しむ」

ミュージックシェアが終了するとスピーカーから「ミュージックシェア終了」の音声案内が聞こえます。

ポイント

- ミュージックシェアは、ペアトーク時のみ使用できます。グループトークでは使用できません。
- ミュージックシェア中に、[3]M ボタンを 1 回押すごとに、音楽再生の「一時停止」⇔「再生」をすることができます。

⚠注意

- ミュージックシェア開始から実際に音楽が聞こえるまでに時間が数秒かかることがあります。
- 音楽が途切れる場合は、ミュージックシェアを終了させ、ミュージックシェアの操作を最初からやりなおしてください。
- インカム通話中は、ミュージックシェアはできません。

G センサーについて

DT-01 は G センサーを搭載し、本体ユニットをタップ（軽くたたく）ことで、操作することができます。

G センサーの感度は 3 段階で調整したり OFF することができます。

詳細は、P.53「ファームウェアのアップデートと機能を調整する」をご参照ください。

オールリセット

接続したBluetooth機器のペアリング情報を全て消去することができます。

電源が OFF の状態で、[2]A ボタンを押しながら、[1]V (+) ボタンを約 5 秒間押します。

LED が赤色で 5 回点滅したら、オールリセットが完了です。

ポイント

通信が不安定な時や通話中に雑音が多い場合、オールリセットすることで症状が改善することがあります。

補修品・オプション

DT-01 をより快適にご使用頂くためのオプション品ならびに修理に使用するスペアパーツをご紹介します。

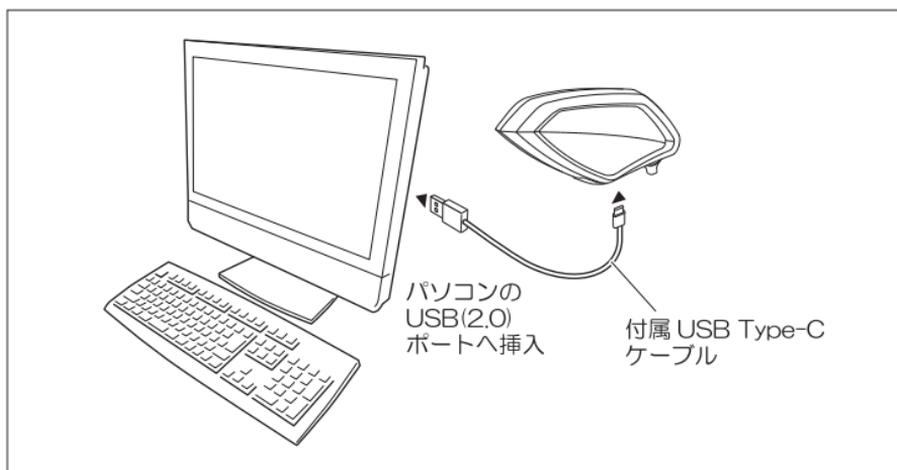
商品名	商品番号	価格(税抜き)
【DT-01 専用スペア/オプション品】		
DT-01 オプションフェイスパネル ブラック	96026	¥800
DT-01 オプションフェイスパネル ホワイト	96027	¥800
DT-01 オプションフェイスパネル レッド	96028	¥800
DT-01 オプションフェイスパネル ブルー	96029	¥800
DT-01 オプションフェイスパネル イエロー	96030	¥800
DT-01 オプションフェイスパネル ライムグリーン	96033	¥800
DT-01 オプションフェイスパネル オレンジ	96034	¥800
DT-01 オプションフェイスパネル ブリリアントブラック	96035	¥1,000
DT-01 オプションフェイスパネル ブリリアントシルバー	98763	¥1,000

商品名	商品番号	価格(税抜き)	構成部品 (丸番号は「商品内容」P.11、 P.12の項番を示します。)
【DT-01 専用補修パーツ】			
ベースプレートセット	98219	¥4,500	②③④⑤⑥
フルフェイス用マイク	98220	¥1,500	⑨⑩
フレキシブルマイク	98221	¥1,800	⑦⑧
スピーカー	98222	¥1,400	⑪⑫⑬(各1個)
USB Type-C ケーブル	98223	¥600	⑭
粘着シールセット	98225	¥1,900	③④⑤⑥⑧⑩⑫(2個) ⑬(2個)
DT-01 ヘルメット マウントキット (ケーブル型マイク)	98703	¥9,600	②③④⑤⑥⑨⑩⑪(2個) ⑫(2個) ⑬(2個)
DT-01 ヘルメット マウントキット (ブーム型マイク)	98704	¥9,600	②③④⑤⑥⑦⑧⑪(2個) ⑫(2個) ⑬(2個)
DT-01 ケーブル型用 補修マイクスポンジ	98705	¥300	マイクスポンジ(1個) 粘着両面テープ ⑩
DT-01 ブーム型用 補修マイクスポンジ	98706	¥300	マイクスポンジ(1個) ⑧
DT-01 スピーカー 補修スポンジ	98707	¥700	スピーカースポンジ(2個) スピーカー固定用面 ファスナー(オス)(2個)

ファームウェアのアップデートと機能を調整する

パソコンに接続して各種機能の詳細設定を変更したり、弊社 WEB サイトより DT-01 専用ファームウェアをダウンロードしてアップデートを行うことで、DT-01 の機能をアップしたり、最新の状態で使用できるようになります。ファームウェアは DT-01 専用です。COOLROBO GT/GT2/ Easy Talk 3 とはファームウェアが異なりますのでご注意ください。

詳細は弊社 WEB サイト(<http://daytona-talk.com>)にてご確認ください。



<動作可能環境 OS : Windows7/10、インターネット接続>

(Mac OS、Windows 8.0、8.1 はご利用できません。)

(2018年7月現在)

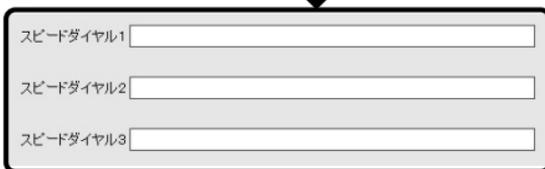
1. 調整前の準備

1. 弊社ウェブサイトにて DT-01 専用ツール「DT01 Config Tool」をダウンロードします。
2. 本体をパソコンへ接続し、ダウンロードした「DT01 Config Tool」を開くと、下図の画面が開きます（図 19）。
※本体を接続せずに「DT01 Config Tool」を開くと「COMポートを選択してから開いてください。」という内容のアラートが表示されます。
3. 「COMポートを開く」をクリックして、通信が可能な状態にします。
通信可能な状態になると文字が黒くなります（図 20）。

図 19



図 20



※文字が黒くなれば、DT-01 との通信設定が可能になります。

これで作業前の準備は完了です。調整したい機能のタブを開き、画面の案内に従って調整してください。

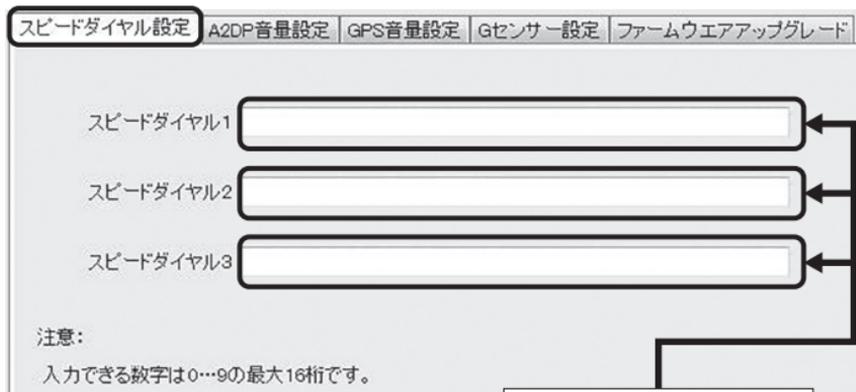
●調整可能な機能

- スピードダイヤル設定
- A2DP 音量設定
- GPS 音量設定
- G センサー設定
- ファームウェアアップグレード

【スピードダイヤル設定】

3 件の電話番号を登録することができます。

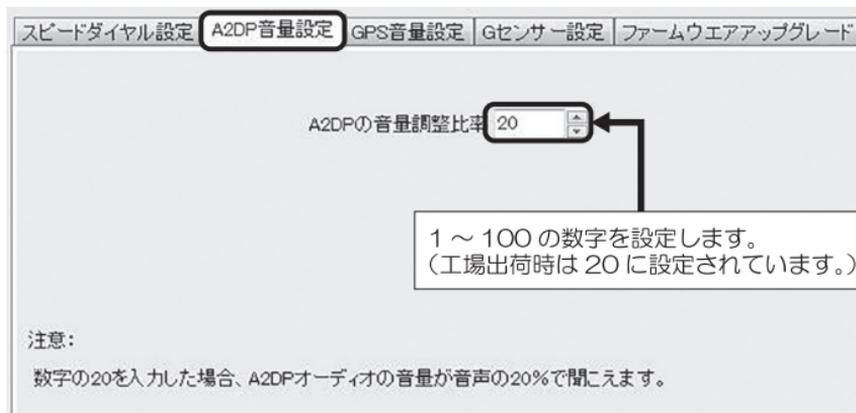
※番号はハイフンなしで入力してください。



電話番号を直接入力します。
(工場出荷時は空欄です。)

【A2DP 音量設定】

バックグラウンドミュージック機能使用時に出力される音楽プレイヤーなどの音量だけを調整します。



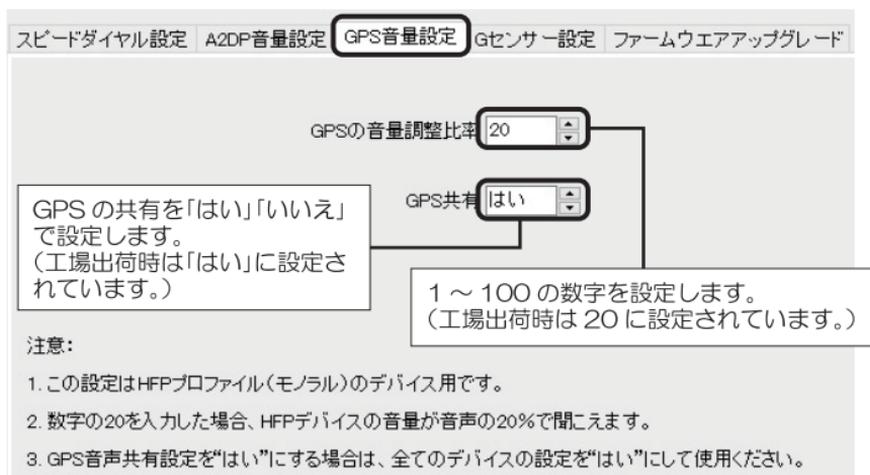
1 ~ 100 の数字を設定します。
(工場出荷時は 20 に設定されています。)

注意:

数字の20を入力した場合、A2DPオーディオの音量が音声の20%で聞こえます。

【GPS 音量設定】

HFP プロファイルを使用するバイクナビやバイクレーダーの音量を調整することができます。



スピードダイヤル設定 A2DP音量設定 **GPS音量設定** Gセンサー設定 ファームウェアアップグレード

GPSの音量調整比率 20

GPS共有 はい

GPSの共有を「はい」「いいえ」で設定します。
(工場出荷時は「はい」に設定されています。)

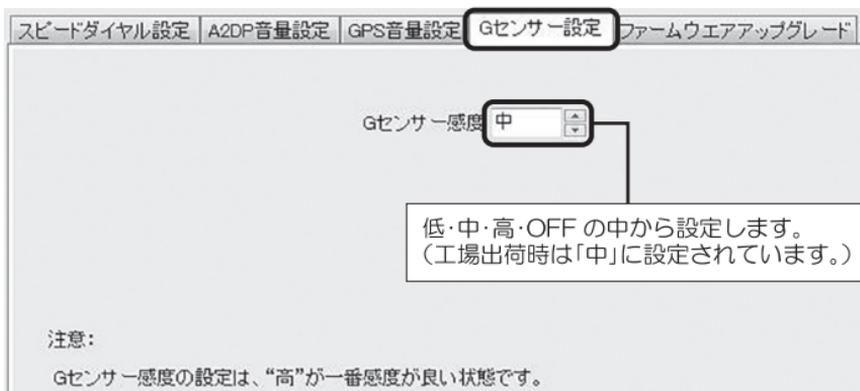
1 ~ 100 の数字を設定します。
(工場出荷時は 20 に設定されています。)

注意:

1. この設定はHFPプロファイル(モノラル)のデバイス用です。
2. 数字の20を入力した場合、HFPデバイスの音量が音声の20%で聞かえます。
3. GPS音声共有設定を“はい”にする場合は、全てのデバイスの設定を“はい”にして使用ください。

【G センサー設定】

G センサーの感度を調整します。



スピードダイヤル設定 A2DP音量設定 GPS音量設定 **Gセンサー設定** ファームウェアアップグレード

Gセンサー感度 中

低・中・高・OFF の中から設定します。
(工場出荷時は「中」に設定されています。)

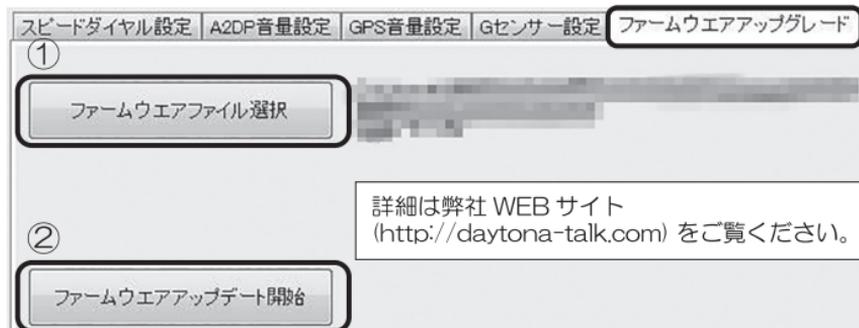
注意:

Gセンサー感度の設定は、“高”が一番感度が良い状態です。

【ファームウェアアップグレード】

DT-01 専用ファームウェアを最新化します。

- ① 「ファームウェアファイル選択ボタン」をクリックして、ダウンロードしたファイルを選択します。
- ② 「ファームウェアアップデート開始ボタン」をクリックすると、更新が開始されます。



【パソコンへの接続注意点】

- パソコンに接続している全てのBluetooth機器を OFF にしてください。
- USB ポートに接続しているマウス等の Bluetooth アダプタ等を取り外してください。
- パソコンのBluetooth機能を OFF にするか、ファームウェアをダウンロード後、ワイヤレス機能を OFF にしてください。

LED 点灯パターンと操作

動作	LED	操作
電源 ON	青：点灯	V- ボタン +A ボタン長押し
電源 OFF	赤：点灯	V- ボタン +A ボタン長押し
ブルートゥース機器 未接続待機状態	青：約 3 秒間隔 で 2 回点滅	—
ブルートゥース機器 接続待機状態	青：約 3 秒間隔 で 3 回点滅	—
グループトークペア リング（1 台のみ）	青：高速点滅	電源 ON の状態で A ボタン 長押し（A ボタンを押しなが らたたく）
グループトークペア リング（1 台以外） ブルートゥース機器 とペアリング（携帯 電話、レーザー）	赤青：交互点滅	電源 ON の状態で M ボタン 長押し（M ボタンを押しなが らたたく）
グループトークペア リング完了	青：約 3 秒間隔 で 2 回点滅 緑：1 回点滅	—
携帯電話着信	赤：高速点滅	M ボタン短押し（1 回たたく）
携帯電話通話中	青：約 3 秒間隔 で 1 回点滅	—
ミュージック再生	—	M ボタン短押し（1 回たたく）
ミュージック停止	—	M ボタン短押し（1 回たたく）
ミュージック曲送り	—	V+ ボタン長押し（2 回たたく）
ミュージック曲戻し	—	V- ボタン長押し（3 回たたく）
ミュージック再生中	青：約 3 秒間隔 で 1 回点滅	—
インカム通話開始	—	A ボタン 2 回押し
インカム通話終了	—	A ボタン短押し

動作	LED	操作
インカム通話中 携帯やレーダーに未 接続状態（親機）	青：2 回点滅 緑：1 回点滅	—
インカム通話中 携帯やレーダーに未 接続状態（子機）	青：3 回点滅 緑：1 回点滅	—
インカム通話中 携帯やレーダーに接 続状態（親機）	青：3 回点滅 緑：1 回点滅	—
インカム通話中 携帯やレーダーに接 続状態（子機）	青：3 回点滅 緑：1 回点滅	—
バックグラウンド ミュージック	青：1 回点滅 緑：1 回点滅	ミュージック再生後に A ボタ ン2 回押しでインカム通話開始
ミュージックシェア	青：1 回点滅	インカム通話開始後に M ボ タン短押しでミュージック再 生
ミュージックシェア 終了	青：3 回点滅	V- ボタンを 5 秒長押し
オールリセット	青：5 回点滅	電源 OFF の状態で A ボタン と V+ ボタンを 5 秒長押し
充電	赤：点灯	—
満充電	青：点灯	—

- 親機と子機は状況により、入れ替ることがあります。

Q & A

下記のような症状がある場合は、まずは取扱説明書をご確認ください。
 その他ご不明な点がある場合は、弊社WEB サイト(<http://daytona-talk.com>)内、
 「DT-01 FAQ」をご覧になるか、弊社お客様相談窓口までお問い合わせく
 ださい。

症状	対応方法
DT-01 が携帯電話と接続できない	<ul style="list-style-type: none"> • DT-01 の電源がON になっていますか？ • 十分にバッテリーが充電されていますか？ • 携帯電話が正常に利用可能ですか？ • 携帯電話のBluetooth 機能がON になっていますか？ • DT-01 と携帯電話のペアリングが正しくできていますか？
自分の声が相手に伝わらない	<ul style="list-style-type: none"> • ベースプレートに本体が確実に取り付けられていますか？ • マイクコネクタが確実に接続されていますか？ • マイクの穴の向きが口の方向を向いていますか？ • ベースプレートのピンの状態は正常ですか？
相手の声や接続した機器の音楽や音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> • 音量設定が小さくなっていませんか？ • ヘルメットスピーカーコネクタが確実に接続されていますか？ • DT-01 と接続した機器のBluetooth 機能がON になっていますか？ • DT-01 とペアリングが正しくできていますか？ • ベースプレートのピンの状態は正常ですか？

症状	対応方法
音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> • スピーカーは正しい位置に取り付けられていますか？ <ul style="list-style-type: none"> • スピーカーと耳の距離を付属のスピーカー固定用調整パッドで調整してください。 • スピーカーを耳の穴の位置に合わせてください。
耳が痛い	<ul style="list-style-type: none"> • スピーカーが耳に強く当たっていませんか？ スピーカーを耳の軟骨に当たらない位置に調整してください。
ボタンが反応しない	<ul style="list-style-type: none"> • ボタンの正しい位置を押していますか？ P.15、P.17 を参考にボタンの位置を確認してください。 • A ボタンカバーパネルがしっかり取り付けられていますか？

保証書 / Warranty Card

この度は当社商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この商品は当社の厳密な検査を経て出荷されておりますが、万が一通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、これを無償修理させていただきます。（以下これを保証修理といいます。）保証修理を依頼される場合は、下記の「お客様記入欄」のすべての項目を必ず記入していただいてからお買い上げいただいた販売店へこの保証書および商品をご持参いただくか、テイナに直接ご連絡下さい。その時、使用状況等を記入した別の用紙（形式は問いません）を添えていただくようお願い致します。

<お客様記入欄>

- ご購入年月： 年 月 日
- 保証書ご記入年月日： 年 月 日
- 商品番号：
- 商品名：
- お名前（ふりがな）
- TEL： — —
- ご住所：〒

- 使用車種：
- 年式（ 年モデル）
- フレームNO.:
- 使用期間（約 日間）

<店舗記入欄>

- 販売日： 年 月 日
- 店名：
- 住所：〒
- TEL：

※ご記入がない場合は、購入日を証明できるものを必ず添付して下さい。

◎お願い：

お買い上げいただいた際に販売店の方に「販売店記入欄」をご記入いただくか、使用期間、購入日を証明できるものを必ず添付してください。提示されていない場合は、いかなる理由でも保証対象外となります。

保証規定

- 1：保証期間：保証修理の期間は、お買い上げいただいた日から一年間とします。
2：お客様にお守りいただく事項：当社商品を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ずお守り下さい。守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますのであらかじめ、ご了承ください。

- (1) 車両本体メーカー発行のサービスマニュアルに示された取扱い方法及び当社の取扱説明書に示す取付け・取扱い方法にしたがって使用すること。
(2) 運行前点検および保守、整備を実施すること。
(3) 定期交換部品、及び油脂類を指定どおり交換すること。

3：保証できない事項：

- (1) 次に示す事項は保証修理いたしません。
① 経時変化あるいは使用損耗による不具合。
② 一般に品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象。(音、振動、オイルのにじみ等)
③ 地震、台風、水害などの天災、事故、および火災に起因する不具合。
④ 煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合。
⑤ 法令に違反する改造及び当社が認めていない改造。(適合車種以外への取付等)
⑥ 通常の注意で発見処置できたにもかかわらず、放置したことにより拡大した不具合。
⑦ 前記2「お客様にお守りいただく事項」を守らなかったこと起因する不具合。
⑧ 浸水による故障
⑨ 本体ユニット以外の消耗品
(2) 次に示す費用は負担いたしません。
① 発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金、修理工賃、整備等の費用。
② 商品を検査のためお預かりする際に発生する脱着工賃等。
③ お車を使用できなかった事による不便さ及び損失等。(電話代、レンタカー代、運送代、機会損失等。)
④ この保証書に示す以外の費用、補償等。

4：保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、当社商品とこの保証書をお買い上げの販売店にお持ち頂き、当社へ修理依頼をして頂きますようお願いいたします。本書を提示されない場合、又はご連絡をいただいていない場合は、保証修理をいたしかねます。

株式会社 デイトナ
静岡県周智郡森町一宮 4805
TEL (0538) 84-2520





daytona-talk.com

お客様相談窓口  **0120-60-4955**

デイトナ商品についてのご質問、ご意見をフリーダイヤルで受け付けております。

東証JASDAQ上場 株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

www.daytona.co.jp